



索引

キーワードから検索する

記号をクリックすると該当ページ移動します。

キーワード	記号	ページ
プログラム概要		
概要は →「利用ガイド」(web) 参照	※1	1
赤1モード：アンカーボルトの定着耐力を確保する。(NCベースの型式により、一義的に検定) ・スタラップ形状の補強筋を使わない		
赤2モード：アンカーボルトの定着耐力を確保する。(NCベースの型式により、一義的に検定) ・スタラップ形状の補強筋を使う		
青モード：設計応力に対して、RCの柱としての耐力を確保する。 ・スタラップ形状の補強筋を使わない(従来の青モードと同じ)		
プログラムの起動	※2	4
操作画面の説明	※3	5
データをインポートして検定する場合	※4	6
データファイルの選択 「汎用一貫構造計算プログラムで作成された柱脚データ」「NCベースPポット用テンプレートを使って作成したデータ」	※5	6
「NCベースPポット用テンプレートを使って作成したデータ」詳細は →「NCベースP柱脚検定」用「インポートデータ作成プログラム」参照		
データファイルの取り込み方法	※6	6
・荷重条件(地震又は風)の設定	※7	7
・フープピッチの初期値を、100mmに設定する方法。(設計ハンドブックの初期値を変更する。)	※8	7
・モードの初期設定(赤1・赤2・青)	※9	7
「柱脚部・柱型部」情報の入力及び検討結果の表示	※10	8
・RC基礎部のグルーピングの設定	※11	8
・圧縮・引張を、「引張」に統一する	※12	9
・柱脚部(NCベース)及び柱型部(基礎RC部)の入力及びデータの確認	※13	10
・グルーピングしたRC基礎部の表示方法	※30	19
・柱脚部の検定結果の表示	※14	10
・RC柱型部の検定結果の表示	※15	10
詳細説明	※16	11
・柱脚部情報表示	※17	11
突出柱の設定	※18	12
・基礎RC部(突出柱を含む)の水平方向のコーン破壊の耐力の検定	※19	12
ブレース付柱の柱脚の設計	※20	14
・せん断耐力がNGの場合に耐力を向上する方法	※21	14
・床スラブの支圧耐力を活用する方法	※22	14
検定結果の表示	※23	15
・NCベースP本体関連	※24	15
・RC基礎部	※25	16
赤1・赤2モード	※26	16
赤1モード	※27	16
赤2モード	※27	16
青モード	※28	18
検定結果データの一覧表示	※29	19
・検定結果のキープランへの表示	※30	19
データ全体の保存と再活用	※31	21
・データを保存する	※32	21
・保存したデータを開く	※33	21
・保存したデータの応力値データを変更する場合	※34	22
印刷	※35	23
上記以外に、新規にデータを作成して検定する方法	※36	25
追加資料「ブレース付柱のNCベースの設計要領」	※37	30